

<マニュアルの改訂及び運用にあたって>

I. 指針・便覧等改定一覧

平成 24 年 3 月に改定された道路橋示方書その他、平成 13 年 11 月以降改定又は制定された主な基準、指針、便覧等は以下の通りである。

	名 称	発行所	制定（改定）年月
①	道路橋示方書・同解説－Ⅰ～Ⅴ編	日本道路協会	平成 24 年 3 月
②	道路照明施設設置基準・同解説	〃	平成 19 年 10 月
③	道路土工－盛土工指針	〃	平成 22 年 4 月
④	道路土工－カルバート工指針	〃	平成 22 年 3 月
⑤	道路土工－切土・斜面安定工指針	〃	平成 21 年 6 月
⑥	鋼道路橋疲労設計指針	〃	平成 14 年 3 月
⑦	道路土工要綱	〃	平成 21 年 6 月
⑧	道路橋支承便覧	〃	平成 16 年 4 月
⑨	鋼道路橋防食便覧	〃	平成 26 年 3 月
⑩	鋼道路橋塗装防食便覧資料集	〃	平成 22 年 9 月
⑪	杭基礎設計便覧	〃	平成 19 年 1 月
⑫	杭基礎施工便覧	〃	平成 19 年 1 月
⑬	舗装設計便覧	〃	平成 18 年 2 月
⑭	舗装施工便覧	〃	平成 18 年 2 月
⑮	道路橋床版防水便覧	〃	平成 19 年 3 月
⑯	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	〃	平成 24 年 4 月
⑰	コンクリート標準示方書－【設計編】	土木学会	平成 25 年 3 月
⑱	コンクリート標準示方書－【施工編】	〃	平成 25 年 3 月
⑲	コンクリート標準示方書－【維持管理編】	〃	平成 26 年 12 月
⑳	鋼構造架設設計施工指針	〃	平成 24 年 5 月
㉑	設計要領第二集	NEXCO	平成 25 年 7 月
㉒	既設橋の耐震補強設計に関する技術資料	国総研	平成 24 年 11 月

II. 改訂概要

道路編（橋梁）第1編 総則

項目	改定概要
1.1 適用範囲	・組織名称、適用示方書年月修正
1.2 字句の意味	・道示に準拠

道路編（橋梁）第2編 第1章 橋梁計画の概要

項目	改定概要
1.1 設計一般	・語尾修正、項目追記
1.2 橋梁計画業務の作業手順	・字句の修正
1.3 橋梁の構造と名称	・変位制限構造追加等の名称追記修正

道路編（橋梁）第2編 第2章 基本計画

項目	改定概要
2.1 基本計画の目的	・変更なし
2.2 計画条件の整理	・条件追加
2.3 橋梁基本諸元の計画	・変更なし
2.4 橋長の決定方法（橋台位置の決定）	・表現の修正 ・組織名称の修正
2.5 支間割の検討（橋脚位置の検討）	・準拠基準の修正 ・組織名称の修正
2.6 支持層の選定	・変更なし
2.7 橋台・橋脚の根入れ	・参考文献の修正、図の説明追記
2.8 桁下空間・建築限界の検討	・準拠基準の修正 ・組織名称の修正
2.9 橋梁平面形状の検討	・変更なし
2.10 支承条件の検討	・変更なし
2.11 計画上の留意事項	・条例の追加、協議事項の追記
2.12 関係機関との協議事項	・協議項目の追記

道路編（橋梁）第2編 第3章 予備設計

項目	改定概要
3.1 予備設計の目的と作業手順	・変更なし
3.2 設計条件の整理	・変更なし
3.3 橋梁形式の一次選定	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎工形式の追加 ・表 2.3.1 基礎形式別施工深さの修正 ・表 2.3.3 基礎形式選定表の修正 ・表 2.3.5 杭種選定の目安の修正 ・表 2.3.6 一般的に使用されている杭長(参考値)を削除[表 2.3.1と重複のため] ・鋼橋、PC 橋の標準適用支間長と標準桁高の表をそれぞれ集約し更新
3.4 一次比較	・変更なし
3.5 比較橋梁形式の選定	・変更なし
3.6 比較設計（二次比較）	・比較表を更新
3.7 橋梁形式の選定	・変更なし

道路編（橋梁）第2編 第4章 調査

項目	改定概要
4.1 調査項目	・変更なし
4.2 地形調査	・変更なし
4.3 地盤調査	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊地盤の調査として、地震時に不安定となる地盤の調査および近接施工の場合の調査を追記 ・表 2.4.4 地盤に関する調査項目の追加 ・表 2.4.6 土質試験の頻度を一部修正および SI 単位系に修正
4.4 河川状況調査	・変更なし
4.5 交差条件調査	・変更なし
4.6 現地調査	・既存資料の調査を追記
4.7 気象調査	・変更なし
4.8 添架・埋設物調査	・変更なし
4.9 貸与資料	・変更なし

道路編（橋梁）第2編 第5章 景観設計

項目	改定概要
5.1 設計概要	・美しい県土づくりガイドラインを追記
5.2 景観設計一般	・変更なし
5.3 参考図書	・変更なし

道路編（橋梁）第3編 第1章 設計一般

項目	改定概要
1.1 適用示方書および基準類	・適用示方書、基準類の更新及び追加
1.2 幅員構成	・境界ブロックの削除 ・引用文献の修正
1.3 使用材料	・SI単位系への修正 ・上部工鉄筋材質の修正、D29以上の機械継手標準化
1.4 設計荷重	・SI単位系への修正 ・引用文献の修正
1.5 舗装および防水層	・交通量区分の修正 ・車道部および歩道部防水層の明確化
1.6 地覆および路肩	・地覆部水切り形状の変更
1.7 検査路	・検査路設置計画・設計要領は「道路橋検査路設置要領（案）H24年 国土交通省」に従うことに変更 ・設計荷重をSI単位系に変更 ・検査路の標準的設置判定フローを追加 ・上部構造検査路の設置例(図)を変更 ・下部構造検査路の設置例(図)を変更 ・昇降設備の設置例(図)を変更
1.8 落下防止柵および遮音壁	・SI単位系への修正
1.9 構造物の解析モデルについて	・1.9.4 動的解析を第5章耐震設計へ集約

道路編（橋梁）第3編 第2章 鋼橋

項目	改定概要
2.1 鋼橋の設計一般	・H24年改訂の道示に伴い維持管理性の確実さ及び容易さについて配慮すべきことを追加 ・市場性の良い鋼板サイズを削除 ・板厚選定を道示の板厚区分とあわせる ・SS400の溶接規定を追加
2.2 床版	・H24年改訂の道示と章番号をあわせる ・SI単位へ変更 ・PC床版の規定を追加 ・使用実績の少ないSD295を削除し、削除に関して道示と同様の解説文を追加 ・床版ハンチ傾斜1:3の規定を追加 ・ひび割れが生じにくいハンチ構造を追加
2.3 鋼橋の連結	・フィラープレートについての条文を追加 ・箱桁断面分割時のストラットをトラス状に組むことについての解説を追加
2.4 プレートガーダー橋一般	・車道側張出し量の規定を道示にあわせ、RC床版1.5m程度以下、PC床版3.0m程度以下に変更 ・主桁間隔は4mを超えないことに変更 ・枝桁の格子計算についての解説を追加 ・曲線区間で直線・支点部折れ桁配置とする場合の床版張出し

	<p>量について 0.6m程度以上 1.5m 以下に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PC 床版を有する曲線区間の主桁配置は道路線形なりの桁配置とすることの解説を追加 ・ 主桁の断面変化位置はガイドライン型設計に従い、現場連結位置にて行う解説を追加 ・ 塗装作業・維持管理用の足場用吊金具の規定を追加 ・ 桁端張出し量の規定を削除 ・ I 桁の桁端ウェブの切欠き形状を追加 ・ フランジ幅の最小幅を主桁高の 1/5 程度以上に変更 ・ I 桁における垂直補剛材・水平補剛材等の細部構造についての規定を追加 ・ 箱桁の断面構成について維持管理の確実さを追加 ・ 箱桁の桁端ウェブの切欠き形状を追加 ・ 箱桁におけるスカラップ・横リブ等の細部構造についての規定を追加 ・ 箱桁内・床版型枠埋め殺し部の排水についての規定を追加 ・ マンホールの規定を追加 ・ ハンドホールの規定を追加
2.5 曲線橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に変更なし
2.6 鋼橋の塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考文献の「鋼道路橋塗装便覧」を H17 年改訂の「鋼道路橋塗装・防食便覧」に変更 ・ 外面塗装仕様を A-1,A-2,A-3 塗装系から C-5,A-5 塗装系に変更 ・ フェノール樹脂 MIO 塗料の条文を削除 ・ 内面塗装仕様を D-1,D-2 塗装系から D-5,D-6 塗装系に変更 ・ 鋼床版裏面塗装仕様を C-1,D-4 塗装系 C-5,D-5 塗装系に変更 ・ 一般橋梁および耐候性鋼橋梁のフランジコンクリート接触面の塗装について無機ジンクリッチペイント 30μm 塗布を追加 ・ 一般橋梁および耐候性鋼橋梁の摩擦接合面の塗装について無機ジンクリッチペイント 50μm 塗布を追加 ・ 現場継手塗装仕様を F-1,F-2,F-3,F-5,F-6 塗装系から F-11,F-12,F-13,F-14,F-15,F-16 塗装系に変更 ・ 塗装記録表の例について鋼道路橋塗装・防食便覧に従い最新版に変更
2.7 無塗装耐候性鋼材の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「安定さび」という表現を「保護性さび」に変更 ・ 参考資料の「無塗装橋梁の手引き」を「耐候性橋梁の手引き」に変更 ・ 参考資料に「鋼道路橋塗装・防食便覧」を追加 ・ 耐候性鋼材適用判定のフローチャートを追加 ・ 入手性の良い耐候性形鋼の種類リストを変更 ・ 「景観に対する配慮」を「景観・湿気・漏水に対する配慮」に変更 ・ 桁ウェブやパラペットへ切欠きを設置することを追加 ・ 止水板を下フランジに設置することを追加 ・ 耐候性鋼材のフィラープレートを使用する場合について解説を追加 ・ 主桁下フランジの高力ボルト連結板について構造詳細の解説を変更 ・ フランジなどの水平部材についての自然排水方法の解説を

	<p>更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラス弦材の板組みについての解説を追加 ・箱桁内部についての解説を変更 ・桁端部・伸縮装置についての解説を変更 ・防水層についての解説を変更 ・塩害に対する記述を追加
2.8 現場溶接構造	<ul style="list-style-type: none"> ・現場溶接採用の際の解説・適正一覧表を変更 ・高力ボルトと現場溶接継手についての比較表を変更 ・部材別現場溶接採用の適否表を変更 ・主構造以外の現場溶接例の表を変更 ・供用下における溶接についての留意点を変更
2.9 疲労設計	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年改訂の道示に従い、疲労設計を追加 ・疲労設計一般について条文・解説を追加 ・疲労設計の流れについてフローチャート・解説を追加 ・応力度による疲労照査について条文・解説を追加
2.10 少数主桁	<ul style="list-style-type: none"> ・少数主桁を採用する場合の規定について追加 ・少数主桁の設計の基本について条文・解説を追加 ・少数主桁の全体系の解析について条文・解説を追加 ・少数主桁の桁配置について条文・解説を追加 ・少数主桁の補剛材について条文・解説を追加 ・少数主桁のずれ止めについて条文・解説を追加 ・少数主桁の横桁について条文・解説を追加 ・少数主桁の床版設計一般について条文・解説を追加 ・少数主桁の床版支間と床版厚について条文・解説を追加 ・少数主桁の床版設計断面力・応力度照査について条文・解説を追加 ・少数主桁の床版構造細目について条文・解説を追加
2.11 鋼橋の撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去時の留意事項追加

道路編（橋梁）第3編 第3章 コンクリート橋

項目	改定概要
3.1 プレキャスト単純桁橋	・JIS名称の変更、プレテン桁の断面図更新
3.2 合成桁橋	・新規に追加
3.3 プレキャスト桁架設方式連続桁橋	・SI単位系への修正
3.4 PC中空床版橋	・変更なし
3.5 RC中空床版橋	・変更なし
3.6 RC単純床版橋	・SI単位系への修正
3.7 PC箱桁橋	・変更なし
3.8 プレキャストセグメント構造	<ul style="list-style-type: none"> ・SI単位系への修正 ・波形接合キーの削除
3.9 外ケーブル構造	・外ケーブル構造の適用範囲を修正

道路編（橋梁）第3編 第4章 橋梁付属物

項目	改定概要
4.1 支承	・タイプA支承に関する記述を削除し修正
4.2 伸縮装置	・伸縮量に関する記述の修正

4.3 排水装置	<ul style="list-style-type: none"> ・排水接続管に関する記述の修正 ・支持金具の防錆について追記
4.4 橋梁用防護柵	<ul style="list-style-type: none"> ・基準の改定により図 3.4.27 を更新 ・車道側防護柵の歩行者自転車用柵兼用を明記
4.5 照明	<ul style="list-style-type: none"> ・基準の改定により内容を更新
4.6 添架物	<ul style="list-style-type: none"> ・SI 単位系への修正
4.7 親柱および橋名板	<ul style="list-style-type: none"> ・橋名板記載内容の修正

道路編（橋梁）第3編 第5章 耐震設計

項目	改定概要
5.1 耐震設計の基本方針	<p>耐震設計編は、H14 道示Vから性能規定型の技術基準を目指した要求性能の明確化や規定の書式の変更が行われており、目次構成を含めて抜本的に修正を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.1 耐震設計の基本方針 5.2 耐震設計上考慮すべき荷重 5.3 設計地震動 5.4 地震時に不安定となる地盤の影響 5.5 静的照査法による耐震性能の照査方法 5.6 動的照査法による耐震性能の照査方法
5.2 慣性力	
5.3 鉄筋コンクリート橋脚の地震時保有水平耐力の照査	
5.4 動的照査	
5.5 橋脚基礎の地震時の耐力および変形性能の照査	
5.6 落橋防止システム	<p>落橋防止システムは、タイプ A 支承や変位制限構造、ジョイントプロテクターの規定が無くなり、横変位拘束構造が追加され、構成が大きく変更となっているため、抜本的な修正を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5.10.1 一般 5.10.2 けたかかり長 5.10.3 落橋防止構造 5.10.4 横変位拘束構造

道路編（橋梁）第3編 第6章 下部構造

項目	改定概要
6.1 材料および許容応力度	<ul style="list-style-type: none"> ・SI 単位へ変更 ・記載するコンクリートの設計基準強度を変更 ・深礎杭の許容応力度を変更 ・RC 杭を削除し、SC 杭の許容応力度を追加 ・押抜きせん断の割り増しの適用に関する記述を変更 ・鉄筋の許容応力度の項目を H24 道示とし、SD390、SD490 を追記 ・パラペット、ウィングの許容応力度を変更
6.2 作用荷重	<ul style="list-style-type: none"> ・偏土圧を考慮する橋脚に関する記載の追記
6.3 橋台の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的であるため胸壁の設計に関する記載を削除 ・側方移動の検討をする地盤条件を追記 ・側方移動対策のプレロード範囲の変更
6.4 橋脚の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・変更なし
6.5 フーチングの設計	<ul style="list-style-type: none"> ・有効幅の考え方を道示に合わせ変更

6.6 橋座の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沓座の設計に直角方向も実施する旨を追記 ・ 橋台沓座面の排水勾配を設ける旨を記載
6.7 構造細目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継手長の算出に SD390、SD490 を追記 ・ かぶりの規定に路面凍結剤の使用時に関する説明を追記 ・ 中間帯鉄筋の継手部のフック形状の記載を変更
6.8 橋台部ジョイントレス構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規に規定
6.9 橋台背面アプローチ部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規に規定
6.10 踏掛版の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踏掛版長さの規定を変更 ・ 使用鉄筋の材質を変更 ・ ゴムパット、アンカーボルトに関する細目を追記 ・ 一般的であるため踏掛版の設計に関する記載を削除 ・ スターラップの配置を変更

道路編（橋梁）第3編 第7章 基礎工

項 目	改 定 概 要
7.1 基礎の安定に関する一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ SI 単位へ変更 ・ 深礎基礎に関する記述の追加
7.2 直接基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ SI 単位へ変更 ・ 道示、設計要領参照章番号の修正 ・ 地盤の極限支持力式の変更（寸法効果に関する補正係数追加） ・ 斜面部における天端余裕幅 S における項目の追加 ・ 段差フーチング基礎形状寸法の修正 ・ 置換え基礎、コンクリート強度に関する記述の修正
7.3 杭基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ SI 単位へ変更 ・ 道示、設計要領、便覧等の参照章番号の修正 ・ 深礎杭、鋼管ソイルセメント杭、回転杭に関する記述の追加 ・ 深礎杭におけるフーチング縁端距離に関する記述の修正 ・ 杭の許容支持力の目安を記した表の削除 ・ 周面摩擦力算出方法の変更に関して追記 ・ 同一フーチング内に著しく異なった長さの杭を有する場合における記述の削除 ・ 杭とフーチングの結合方法の表記について、方法 B⇒接合法とし、方法 A について理由を述べた上で削除 ・ 杭頭補強に関する高強度鉄筋の使用に関する記述を追加 ・ 押抜きせん断照査では、許容値の割増しを行わないことを追記 ・ 鋼管杭における現場継手部の許容応力度の変更 ・ 場所打ち杭において、鉄筋のかぶり、最小鉄筋間隔の記述を変更、二段配筋の記述の削除 ・ 杭頭補強鉄筋のフーチング内への定着長の変更 ・ フレー溶接に関する記述の削除 ・ 鉄筋組立て時における溶接の不使用を追記 ・ 軟弱地盤上における場所打ちオールケーシング工法杭の不採用に関する記述を追記 ・ 深礎杭について、「組杭深礎」「柱状体深礎」の2種類を記述 ・ かぶりや配筋など深礎杭に関する構造細目の追加・修正

道路編（橋梁）第4編 第1章 補修補強一般

項 目	改 定 概 要
1.1 一般	・変更なし

道路編（橋梁）第4編 第2章 現橋の点検・調査

項 目	改 定 概 要
2.1 点検の目的	・山梨県橋梁点検要領（案）平成23年4月に記載を合わせる
2.2 点検の種別	・山梨県橋梁点検要領（案）平成23年4月に記載を合わせる
2.3 点検調査の結果判定	・山梨県橋梁点検要領（案）平成23年4月に記載を合わせる
2.4 耐荷力照査	・変更なし

道路編（橋梁）第4編 第3章 鉄筋コンクリート床版の補修・補強

項 目	改 定 概 要
3.1 損傷原因と補修対策	<ul style="list-style-type: none"> ・補修工法にひびわれ補修工を追加 ・F.R.P 接着工法を連続繊維シート接着工法に名称変更 ・打替え工法記載を取替床版形式毎から、打替えと取替に大別した記載に変更
3.2 点検の種別	・山梨県橋梁点検要領（案）平成23年4月に記載を合わせる
3.3 打替え工法	・鋼床版説明図変更
3.4 縦けた補強	・変更なし
3.5 鋼板接着工法	・変更なし
3.6 増厚工法	・解説文、説明図変更
3.7 連続繊維シート接着工法（新規）	・連続繊維シート接着工法の概要追加

道路編（橋梁）第4編 第4章 鋼橋の補修・補強

項 目	改 定 概 要
4.1 一般	<ul style="list-style-type: none"> ・部材取付は高力ボルトを基本とし溶接は避ける記載変更 ・劣化・損傷に応じた補修方針補修工法例追加
4.2 主構造部材	・部材取付は高力ボルトとする旨記載、説明図変更
4.3 床組	・説明図をボルト接合のみに変更
4.4 支点部付近	・説明図を明瞭なものに変更
4.5 疲労	<ul style="list-style-type: none"> ・参考文献として鋼道路橋の疲労設計指針（平成14年3月）を追加 ・耐風設計便覧の年度変更
4.6 塗装（新規）	・塗装塗替えについて記載を追加

道路編（橋梁）第4編 第5章 コンクリート橋の補修・補強

項目	改定概要
5.1 一般	<ul style="list-style-type: none"> ・主な補修・補修工法一覧図追加 ・参考文献として表面保護工設計施工指針（案）平成17年を追加 ・補修工法概要説明を表面保護工法・表面含浸工法・断面補修工法・ひび割れ補修工法に大別して整理 ・表面含浸工法追加 ・ひび割れ補修工法追加 ・F.R.P 接着工法を連続繊維シート接着工法に名称変更 ・プレストレス導入工法から内ケーブル工法を削除
5.2 補強工法と適用の関係	・補強部材と適用できる補強工法表変更
5.3 鋼板接着工法	・アンカーボルト径と鋼板厚表変更
5.4 連続繊維シート接着工法	<ul style="list-style-type: none"> ・F.R.P 接着工法を連続繊維シート接着工法に名称変更 ・繊維材の性質表変更
5.5 増厚工法	・変更なし
5.6 プレストレス導入工法	・内ケーブル工法を削除
5.7 打換え工法	・変更なし

道路編（橋梁）第4編 第6章 下部構造の補修・補強

項目	改定概要
6.1 一般	<ul style="list-style-type: none"> ・5章コンクリート橋の補修補強を参考とする旨記載 ・ひび割れ補修の説明文変更
6.2 下部工の耐震補強（削除）	・耐震補強については8章（新規）に記載する。

道路編（橋梁）第4編 第7章 付属物の補修・補強

項目	改定概要
7.1 落橋防止対策	・落橋防止対策は8章（新規）に記載する。
7.1 伸縮装置	<ul style="list-style-type: none"> ・解説文変更 ・主な損傷と原因・補修方法表、補修の流れ図追加 ・伸縮装置の補修設計項追加
7.2 排水工	<ul style="list-style-type: none"> ・橋面防水工追加 ・床版の防水処理追加

道路編（橋梁）第4編 第8章 耐震補強（新規）

項目	改定概要
8.1 耐震補強一般	<ul style="list-style-type: none"> 8.1.1 耐震補強設計の基本 8.1.2 耐震補強設計の留意事項
8.2 支承部の耐震補強対策および落橋防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 8.2.1 基本方針 8.2.2 支承部の耐震補強設計 8.2.3 落橋防止システム的设计
8.3 橋脚耐震補強	<ul style="list-style-type: none"> 8.3.1 鉄筋コンクリート橋脚の補強 8.3.2 鋼製橋脚の補強 8.3.3 橋梁全体系の補強 8.3.4 基礎の補強

道路編（橋梁）第5編 第1章 鋼橋の架設

項 目	改 定 概 要
1.1 架設工法の選定	・参考資料に「わかりやすい鋼橋の架設Ⅱ」を追加
1.2 鋼橋の架設	・鋼橋の構造形式と架設工法の適用性の表を変更 ・架設地点の条件から選ばれる標準的架設工法のフローチャートを変更
1.3 架設時の設計上の留意事項	・参考資料に「鋼構造架設設計施工指針 2001年版」を追加

道路編（橋梁）第5編 第2章 コンクリート橋の架設

項 目	改 定 概 要
2.1 架設工法の選定	・図 5.2.3 を最新の図に更新
2.2 コンクリート橋の架設工法	・表 5.2.1 を最新の表に更新

道路編（橋梁）第5編 第3章 仮設

項 目	改 定 概 要
3.1 適用範囲	・変更なし
3.2 設計フローチャート	・変更なし
3.3 土留め、締切り方式の選定	・変更なし
3.4 使用材料	・SI 単位系への修正
3.5 荷重	・SI 単位系への修正
3.6 許容応力度	・SI 単位系への修正
3.7 親杭方式	・SI 単位系への修正 ・親杭と構造物の離れを修正
3.8 鋼矢板方式	・SI 単位系への修正 ・ヒービングに対する安全率の修正、追加 ・鋼矢板と構造物の離れを修正
3.9 仮栈橋	・変更なし
3.10 アンカー式土留	・SI 単位系への修正

道路編（橋梁）第6編 第1章 設計の照査

項 目	改 定 概 要
1.1 設計照査の考え方	・変更なし
1.2 照査報告書の作成	・変更なし

路編（橋梁）第6編 第2章 成果品

項 目	改 定 概 要
2.1 委託設計成果品の内容	・設計条件表の更新
2.2 成果品の取りまとめの方法	・成果品内容の修正
2.3 協議記録	・変更なし